

こども・子育てマニフェスト



2022

さんいんせん 参院選
こうめいとう 公明党
やくそく 約束
参院選にのぞむ公明党のお約束

こ 子どもの幸せを一番に
しあわ いちばん
かんが 考える社会に
しゃかい

じゅうじつ がっこうせいかつ
充実した学校生活へ

けんこう 健康といのちを守る
まも

とき そな たいさく
もしもの時の備えと対策

ゆた 暮らしを豊かに

へいわ せかい
平和な世界へ



こども・子育てマニフェスト 2022

みなさんの「夢」は何でしょうか？

公明党はこれまで、子どもの幸せを一番に考える社会の実現に全力で取り組みできました。

通常国会では、子どもの権利を守る「こども基本法」や、子ども政策を担当する「こども家庭庁」を設置する法律をつくるなど、子どものみなさんが夢を持ち、幸せになるための政策を「国の一番重要な課題」として取り組んでいます。

今、世界中が新型コロナウイルス感染症の克服に取り組む中、ロシアは、ウクライナへの侵略を開始しました。はるか遠くの日本にもウクライナの人たちが避難してきています。公明党はこうした方々が安心して生活できるよう、必要な支援をしました。

また、このウクライナ侵略の影響もあり、小麦などの食品や石油などが値上がりし、ご家庭にも大きな負担がのしかかっています。そのため、値上げをおさえる政策を実行しています。

公明党は、子どものみなさんが幸せになるためには、みなさんのお父さんお母さんも希望をもってくらせる社会をつくるのが大事だと考えます。これからも、日本経済を元気にし、希望するだれもが安心して子どもを産み育て、だれもが十分な教育を受けられるよう、全力で取り組んでいきます。

そして、いろいろな国と協力しながら、「SDGs（持続可能な開発目標）」の取り組みをすすめ、平和で安定した世界をつくっていきます。

公明党は2022年に、政党になってから58年をむかえます。

私たち公明党は、これまでも、そしてこれからも、みなさん一人ひとりの「小さな声」を聴き、暮らしを守り、希望ある日本の未来を築いていきたいと考えています。そのために、全国にいる約3,000人の国会議員と地方議員が、いつも連絡を取り合い、その声を国の政治にまで届け、そして、政策を実現していきます。

7月10日（日）、参議院選挙が行われます。公明党は、子どもも大人も幸せになっていける家庭、学校、地域、そして平和な世界をつくっていくために、新しい時代を担うみなさんと一緒に世の中のこと、政治のことを考えていきたいと思いました。そのため、公明党はみなさんへのお約束として、「こども・子育てマニフェスト2022」をつくりました。ぜひ、ご家族のみなさんや、多くの人と一緒に語り合いながら、読んでいただけたら幸いです。



子どもの幸せを一番に 考える社会に

子どもの幸せを一番に考え、子どもを中心に社会をめざします。

また、安心して子どもを産み育てられるように、いろいろな制度を充実させて
応援していきます。

● 子どもの権利を守る「こども基本法」や、子ども政策を担当する「こども家庭庁」を設置する法律をつくりました。「こども基本法」や「こども家庭庁」のもとで、子どもの権利を守りながら、子ども政策をさらに充実させていきます。

● 子どもの意見を政策に反映させるため、子どもの意見を聞く仕組みをつくれます。特に、なかなか自分の意見を言うことが難しい子どもたちの意見や思いを受け止めるために、専門家による支援を受けられるようにします。

● 大人がするような家事や家族の世話などをしている子ども（ヤングケアラ）を支えるために、不安や悩みなどの相談を聞いたり、家事を手伝ったりなどの支援を充実させます。

● 赤ちゃんを産む時には病院でたくさんのお金がかかります。お産や子育てを応援するために支払われる「出産育児一時金」を増やします。

● 赤ちゃんを産んだ後に精神的に不安定な状態になる「産後うつ」を防ぐために、「産後ケア」を全国各地で受けられるようにします。また、家事・育児への支援を充実させます。

● お父さんお母さんが共働きなどで保育を必要とするような場合に、すべての子どもが保育所や保育サービスを使えるように、保育所を増やしたり、延長保育や休日保育、病気の子どもの保育などいろいろな保育サービスを広げていきます。

● 2019年からすべての3～5歳児を対象に「幼児教育の無償化」が実現しました。引き続き、保育園に入りたいけれど入れない子どもの支援などをすすめ、0～2歳児の保育料無償化の対象をだんだん広げていきます。

● 子どもへの暴力などをなくすために、家庭での体罰など、子どもの体に痛みを与えるようなことを法律で禁止しました。さらに、子どもや家庭を助けるための「児童相談所」や市役所、町や村の役場に、専門で対応する人を増やし、子育てなどのアドバイスをします。

● 子どもたちのいろいろな才能を開花させるため、「オンライン図書館」の活用や、探究心や研究心を育成する家庭でも学校でもない民間教育の場（サードプレイス）づくりをすすめます。

じゅうじつ がっこう せいかつ 充実した学校生活へ

みなさんが、豊かな心を育み、自分の将来に夢をもって進み、その夢をかなえるために必要な「教育」をしっかりと安心して受けられるように公明党はおうえん応援します。

- 2025年度までに順番に小学校を40人から35人学級にしていきます。さらに、中学校でも35人学級をめざし、将来的には小中ともに30人の少人数学級をめざします。

- 公立の小中学校で1人1台タブレットなどが配布されています。そうしたデジタル技術も活用して、一人ひとりの学力などに応じた教育をすすめていきます。

- 公明党は、みなさんが使っている小中学校の紙の教科書を無料にしました。引き続き、紙の教科書などを使いつつ、デジタルの教科書も無料で使えるよう取り組みます。

- みなさんの意見が学校内でもっと大切にされるよう、生徒と保護者、学校の先生と一緒に話し合いをしながら、校則や学校行事などを決めていく「学校内民主主義」の実現をめざします。

● いじめ、不登校、死にたいなどで悩んだときに、スクールカウンセラーや、LINEなどのSNSで相談できるように充実させます。また、事情を抱えて登校できない場合でも、希望すれば学べるよう、オンライン教育やフリースクール、夜間中学などで学習できるようにします。

● 障がいがあっても一人ひとりに応じた学習ができるよう、先生や教室を増やしたり、学校のバリアフリー化をすすめて、学びやすい環境をつくれます。

● 安心してインターネットやSNSなどを使えるように、マナーやルール、正しい情報の見分け方などを学ぶ機会を増やします。

● 安全で、気持ちよく自転車を使えるようにするため、自転車の通る場所や自転車おき場を整えます。また、自転車の保険に入ってもらったり、小学校や中学校の子どもたちに、交通安全について学ぶ場をたくさんつくれます。



● 放課後でも学校や児童館などで安心して過ごせるよう、「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ」などを充実させます。

● 新型コロナウイルスの影響を受けている留学については、世界的な感染の状況も見ながら、留学がしやすくなるよう支援をします。

● 2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、日本人選手がたくさんのメダルを獲得するなど、活躍が光りました。これからも世界で活躍できるトップアスリートが生まれるよう支援をします。

● 小中学校で必要な文房具などの学用品費や修学旅行費などの負担を減らすため、経済的に大変なご家庭に支給している「就学援助」の支給額を増やすとともに、対象になる人をだんだん広げます。

● 2020年から年収590万円未満のご家庭を対象に「私立高校授業料の実質無償化」が実現しました。さらに公立と同じ年収910万円未満のご家庭まで対象を広げていきます。

● 高校の授業料以外にかかる教育費の負担を減らすため、経済的に大変なご家庭に支給している「奨学給付金」の支給額を増やし、対象になる人もだんだん広げていきます。

● 2020年^{ねん}から^{けいざいてき}経済的に^{たいへん}大変な^{かてい}ご家庭を^{たいしやう}対象に、^{かえ}返さなくてもよい^{きゆうふがた}給付型
奨学金^{しょうがくきん}と^{じゆぎやうりやう}授業料・^{にゆうがくきん}入学金の^{しえん}支援を^{じゆうじつ}充実させました。さらに^{たいしやう}対象になる
人^{ひと}を広^{ひろ}げていきます。

● 希望^{きぼう}する^{だいがく}だれもが^{しんがく}大学などに^{しょうがくきん}進学できるように、^か奨学金を^{まな}借りて^{まな}学ん
だ^{ひと}人が、^{そつぎやう}卒業した^{あと}後に^{しょうがくきん}奨学金を^{かえ}返しやすい^{しく}仕組みをつ^{しく}くりま^{しく}す。
例^{たと}えば、^{きゆうりやう}お給料が^{すく}少ない^{かえ}うちは^{がく}返す^{すく}額を^{しく}少なく^{しく}できる^{しく}仕組みをつ^{しく}くった
り、^{とどうふけん}都道府県・^{しくちやうそん}市区町村や^{かいしや}会社が^{しょうがくきん}奨学金を^{かえ}返すのを^{しえん}支援してく^{しえん}れたりする
仕^{しく}組みを^{ひろ}広げて^{ひろ}いきます。

● 豊^{ゆた}かな^{こころ}心を^{はぐく}育む^{ぶんかげいじゆつ}ため、^{しぜんたいけんかつどう}文化芸術や^{どくしよ}自然体験活動、^{した}読書などに^{した}親しむ
機^き会^{かい}を^ふ増^ふや^ふします。

● 小^{しょう}中^{ちゆう}学生^{がくせい}の^{みな}皆さんが、^{ぶんかげいじゆつ}文化芸術を^{すく}少なくとも^{ねん}年に^{かい}1回^{かんしやう}は鑑賞する
機^き会^{かい}をつ^きくりま^きす。また、^{えんげき}オペラ、^{えんげき}バレエ、^{えんげき}オーケストラ、^{えんげき}演劇などの
文^{ぶん}化^か芸術^{じゆつ}を「^こ子ども^{むりやう}たちは^{むりやう}無料」で^{かんしやう}鑑賞^とできる^と取^とり組^くみを^{ひろ}広げ^{ひろ}ま^{ひろ}す。



健康といのちを守る

すべての子どもたちが健やかに成長していけるよう、医療をより充実させていきます。

● 新型コロナウイルスの感染者が増えてしまって必要な医療を受けられない「医療崩壊」を防ぐため、病院などの受け入れ体制を整えます。また、新型コロナウイルスの国産ワクチンや治療薬の開発をすすめ、できるだけ早く使えるようにします。

● 新型コロナウイルスから回復したあとも、頭痛やだるさなどにずっと苦しむ人がいます。こうした後遺症に悩む人が相談できる窓口や医療機関を増やします。

● どの地域に住んでいても安心して子どもが医療を受けられるように、子どもの医療を高校3年生まで無料にすることをめざします。

● アトピーや、国民病ともいわれる花粉症で、つらい思いをしている人がたくさんいます。公明党は、こういったアレルギーの病気に対する対策をすすめる法律をつくりました。つらい人がさらに少なくなるようにしていきます。

● 歯がきちんとかみ合うようにする矯正歯科治療について、医療保険の対象を増やすことをめざします。

● 治すことが難しかったり、めずらしい病気だったりといった難病のための医療費を援助する仕組みを公明党がすすめました。援助する病気の対象を広げ、よりききめのある治療法の研究や開発もすすめていきます。

● 日本人の2人に1人が“がん”になり、3人に1人が、“がん”で亡くなっています。治療法の研究開発を急ぎます。また、がんについてしっかりと理解できるよう、がん教育をすすめます。

● 動物の命も大切な命です。人と動物が幸せに暮らせる社会をめざし、公明党は動物の虐待防止対策を大きく前進させました。捨てられてしまった犬や猫の新しい飼い主を探したり、災害の時にペットと一緒に避難できるように、さらに支援をすすめていきます。



もしもの時の備えと対策

いえ がっこう どうろ はしなどをさいがい ま つよに負けない強いものにしていきます。また、こどもからお年寄り、しょうがいのある人にもやさしい社会にするため、あんぜんたいさくにぜんりょく と く 全力で取り組みます。

● さまざまな自然災害に備えて、地震に強い建物や橋などをつくり、川の堤防を強くし、鉄道や空港、港などの建物を強くするなどの取り組みをすすめます。また、電気やガス、水道、電車や車などの交通、生活やくらしがとまってしまわないように、もしもの時の準備をすすめます。

● 地震や台風、豪雨などの被害を受けた人たちが安心してくらすよう、しっかりと寄り添いながら、心のケアや健康、生活の手助けをしていきます。

● 家庭や学校、地域で、自分の身を守ることやみんなで助け合うことなど、防災について学んだり、訓練などを行い、協力し合えるようにします。

● デジタル技術を使って、離れていても子どものいる場所がわかったり、災害から身を守るための防災情報を流したりするなどして、安全で安心なくらしができる社会をつくっていきます。

● 子どもやお年寄りが熱中症にならないよう、また、亡くなる人を減らしていけるように、熱中症の危険性が高い日をスマートフォンなどで知らせしてくれる「熱中症警戒アラート」などの取り組みをすすめます。

● 地震に強い学校をつくるため、古くなった建物の修理などをすすめます。また、和式トイレや古くなったトイレの改修、体育館などのエアコン設置をすすめて、快適に学べる環境をつくれます。

● 安心して通学路を登下校できるよう、歩道を広げたり、ガードレールを設置するなど、安全対策を強化します。



ゆた くらしを豊かに

しんがたのこにほん けいざい た なお
新型コロナウイルスを乗り越え、日本の経済を立て直し、みなさんのくらしを豊かにする
ための政策の実現をめざします。

● しんがた しんりやく えいぎょう ねんりょう もの ねだん たか
新型コロナウイルスとロシアのウクライナ侵略の影響で燃料や物の値段が高
なり、いんしょくてん かんこうぎょうかい おお みせ かいしゃ きび
飲食店やホテルといった観光業界をはじめ多くのお店や会社が厳
しい状況に追い込まれています。かいしゃ とうさん はたら ひと しつぎょう
会社が倒産したり、働く人が失業した
りしないようにするためのたいさくだけでなく、お給料があがるよう支援し
て、みんなのくらしをまもります。

● どういつらう どうどういつちんぎん おな しごと おな きゅうりょう しはら げんそく
同一労働同一賃金（同じ仕事には同じお給料を支払うという原則）の
じつげん じかん きゅうりょう さいていちんぎん ぜんこくへいきん えんいじょう
実現や、1時間あたりのお給料（最低賃金）を全国平均で1,000円以上に
アップさせていきます。また、かんごし ほいくし かいごし
看護師さんや保育士さん、介護士さんのお
きゅうりょう ふ
給料をさらに増やすことをめざします。

● けいざい
経済をよくするために、ワクチン接種や質の高い検査などの証明を活用
して、あんしん しょくじ りょこう さんか
安心して食事や旅行、イベントに参加できるようにしていきます。
かんせん お つ かんこうひょう わ び じっし
感染が落ち着いてきたら、観光費用を割り引きするキャンペーンを実施し
て、かんこうさんぎょう ふっこう と く
観光産業の復興に取り組みます。

● お父さんお母さんが働きやすくなるよう、短時間のお仕事やテレワーク（デジタル技術を活用して時間と場所にしばられない柔軟な働き方）などを広げていきます。

● 「マイナンバーカード」の便利さを感じられるよう、手続きを自宅のパソコンやスマートフォンで簡単にできるようにしていきます。また、「マイナンバーカード」を自動車運転免許証やその他の免許証としても活用できるようにしていきます。

● AI（人のように頭脳を使って問題を解決する技術）や、IoT（機械、道具などのあらゆるモノをインターネットでつなぎ、新たなサービスや製品を生み出す技術）、人と同じように働くことができる機械やロボットなどのデジタル技術を使って、仕事の負担を少なくしたり、自動車による交通サービスやドローン（無人航空機）による配達など、便利で豊かな生活ができるようにしていきます。

● 「100歳まで長生きできる時代」と言われています。なんども学び直しができるよう、大学や職業訓練などを充実させて、どこに住んでいても、働きながらでも、学びたいものを学べるように「学び直し」（リカレント教育）ができる環境を広げていきます。

● 日本では一年間に約570万トン（毎日大型トラック約1,560台分）の食品が、まだ食べられるのに捨てられています。この「食品ロス」を減らすため、賞味期限が近い食品を安く買えるようにする取り組みなどをすすめます。また、こども食堂などでも活用し「もったいない」と「おすそわけ」の心が広がるような取り組みにも力をいれていきます。

● おいしくて安全な日本の食べ物や和食は、海外でもとても人気があります。魅力ある地域の特産品を海外の人にもっと知ってもらい、輸出を応援することで、農林水産業を元気にしていきます。

● 地球環境にやさしい社会（グリーン社会）をめざし、石油や石炭といった温室効果ガスを発生するエネルギーを減らして、太陽光や風力といった自然エネルギー（再生可能エネルギー）を使うようにしたり、エネルギーの節約（省エネ）に取り組んでいきます。そして、2050年までに温室効果ガスの排出量と吸収量でプラスマイナスゼロにする「カーボンニュートラル」の実現をめざします。

● 原子力に代わる新しいエネルギーをつくって、できるだけ早く原子力発電（原子力を使って電気をつくる）を使わなくていい社会をつくっていきます。また、原子力発電を使うあいだは、絶対に事故が起きないようにきびしく安全の管理をしていきます。

● プラスチックごみによる海のよごれが大きな問題になっており、私たち人間や動物への影響が心配されています。そのため、ムダなごみの量をできるだけ少なくする、リデュース(Reduce)、一度使ったものをごみにしないで何度も使う、リユース(Reuse)、使い終わったものをもう一度、資源に戻して製品をつくる、リサイクル(Recycle)の3R(スリーアール)に加え、環境にやさしいプラスチックの開発や利用をすすめるリニューアル(Renewable)の取り組みをすすめていきます。

● 公明党の取り組みによって、日本の携帯電話料金は世界の国々と比べても格段に安くなりました。みなさんが自分に合った料金プランを選べるようにサポートする取り組みをさらにすすめていきます。

● 若い人たちの意見をもっと政治に取り入れやすくするため、選挙に立候補してみんなの代表に選ばれる権利(被選挙権)の年齢の引き下げをめざします。

● 若い人たちの声を反映した政策や法律をつくるため、政府に若者政策を担当する大臣やチームを設置したり、全国各地で若い人たちの目線や意見を生かしたまちづくりが進むよう、地域の若い人たちが中心になって開く「若者議会」の開催を応援します。

へいわ せかい 平和な世界へ

にほん せかいじゅう くにくに きょうりよく
日本がリーダーシップをとりながら、世界中の国々と協力し、「だれひとり、取り残されない」へいわ せかい じんるい ほんえい こうけん くに
平和な世界と人類の繁栄に貢献する国づくりをすすめます。

● せかい ぐんじりよく つか いっぽうてき くに くに やくそく やぶ
世界では、軍事力を使って一方的に、国と国とで約束したことを破ったり、こっきょう か こくさい やぶ くに
国境を変えたり、国際ルールを破る国がありますが、せかいじゅう
世界中どのよう
なちいき ばしょ せんそう ぼうりよく ぜったい ゆる みな
な地域・場所であっても、戦争や暴力を絶対に許してはいけません。皆が
あんしん く へいわ かんきょう
安心して暮らせる平和な環境をつくるため、せかいじゅう くにくに たいわ とお
世界中の国々と対話を通し、
きょうりよく ふか あらそ かいけつ こま ひと しえん と く
協力を深め、争いの解決や困っている人たちを支援する取り組みをすす
めていきます。

● にほん せかい ひと ひろしま ながさき げんしばくだん お くに
日本は世界でただ一つ、広島と長崎に原子爆弾を落とされた国として、
かくへいき おど つか ほんとう つか ぜったい
核兵器を脅しに使ったり、本当に使おうとすることを絶対にゆるしてはな
りません。「もたず、つくらず、もちこませず」のひかくさんげんそく まも
「非核三原則」を守りな
がら、かくへいき も くに も くに りょうほう はたら
核兵器を持つ国と持たない国の両方に働きかけをしていくことが
たいせつ かくじっけん きんし かくへいき へ くに やくそく
大切です。核実験を禁止したり、核兵器を減らそうとする国どうしの約束
やとりきめをじつげん させるなど、かんきょう ととの やくわり にほん にな かくへいき
や取り決めを実現させるなど、環境を整える役割を日本が担い、「核兵器
のないせかい じつげん む
世界」の実現に向け、さまざまな取り組みを積み重ねていきます。

● 2017年、国連で、核兵器を「非人道兵器」として、その開発、保有、使用などを禁止した「核兵器禁止条約」が採択されました。日本はこの条約に賛同していませんが、賛同する国が行う会議に参加し、原子爆弾のおそろしさや研究した結果をしっかりと伝えていくことなどを通して日本が貢献を果たし、将来は条約に参加できるような環境をつくっていきます。

● ウクライナから避難された方々が日本で安全に安心してくらせるようにするため、日本語を学べるようにして、学校や病院に通えるように支援したり、働く場所が見つかるよう支援したりします。

● 世界中のすべての人が、だれひとり取り残されずに、現在も未来も、安全で安心な人間らしい暮らしができ、地球に住み続けられるよう、環境、感染症、貧困、紛争などの解決・改善をめざす＝「SDGs（持続可能な開発目標）」の取り組みをすすめます。そのために、世界の国・地域、国際機関や企業など、さまざまな人たちと協力をしていきます。

● 「平和」にとって人と人との交流はとても大切です。とくに若いみなさんが世界中の国・地域の人たちと交流することは、将来にわたる、かけがえのない関係を築く土台となります。言語や文化などの違いを超えて、留学生の交流、オンラインを使った交流をすすめています。また、海外で行われる日本語教育や日本の研究などに力を入れて取り組んでいきます。



公明党参議院選挙2022特設サイトから
「こども・子育てマニフェスト」のリンクをたどってください。
<https://www.komei.or.jp/special/sanin2022/kodomo-manifest/>

